

1) 対象事業の名称等		
対象事業の名称		事業実施期間
野々市市まち・ひと・しごと創生推進計画		令和7年4月1日から令和12年3月31日まで
令和7年度事業費	令和7年度寄附総額	担当部署
78,418 千円	19,654 千円	企画財政課 市民生活課 地域振興課 生涯学習課 総務課

野々市市創生総合戦略推進会議の事業の評価		第3期ののいち創生総合戦略の位置付け
■ 第3期ののいち創生総合戦略のKPI達成に有効であった	□ 第3期ののいち創生総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	基本戦略1 しごとを創る ～野々市らしい産業の創出～ 基本戦略2 ひとの流れを創る ～安心して暮らせる環境づくり～ 基本戦略3 魅力的なまちを創る ～地域・広域連携によるまちづくり～ 横断的な戦略 「ののいち」のブランディング

2) 対象事業
第3期ののいち創生総合戦略に掲げる施策に基づく全ての事業

3) - 1 令和7年度の実施内容【しごと】
○地域に根差した創業支援事業 【創業セミナー】 1回開催 先輩創業者が自身の創業についての経験談を語る講演やワークショップの他、先輩創業者との意見交換、個別相談会を行った。 ・参加者 20 人（定員 20 人） 【創業塾】 2回開催 経営、財務、人材育成、販路開拓の分野を網羅する講座を3週連続で開催した。 ・夏：参加者 24 人（定員 20 人） 修了者数 21 人 ・冬：参加者 15 人（定員 20 人） 修了者数 9 人  創業セミナー

3) - 2 令和7年度の実施内容【ひと】
○市立図書館事業 【図書の調達冊数】 11,788 冊（SDGsの各目標に関連した図書、児童図書、読み聞かせボランティアに役立つ図書、バリアフリー絵本、電子書籍等） 【身近な地域、郷土をテーマにした取組】 椿の実搾油体験・ケーキ作り 1回開催 参加者 10 人 郷土ゲーム『ごいた』を用いたボードゲームイベント 2回開催 参加者 36 人 昭和 100 年記念展示 チラシに見るくらしの移り変わり 1回開催 来場者 1,601 人 【戦後 80 年に関連した取組】 へいわをかんがえるおはなしかい（子ども向け） 参加者 5 人 平和を考えるひととき～朗読会～（一般向け） 参加者 13 人 この他、原爆パネル展、図書展示も実施 【屋外広場を活用した大型イベント】 野あそびマルシェ（アウトドア、防災、グルメ） 来場者（館内）2,200 人（広場）3,100 人  ポケモンごいたのイベント へいわをかんがえるおはなしかい

3) - 3 令和7年度の実施内容【まち、ブランディング】

○SDG s 未来都市推進事業

【SDG s ワークショップの開催】

持続可能な社会の実現やまちづくり参画促進に向けた知識や技術の習得を促す「SDG s ワークショップ」を開催。環境意識向上のための木工、コンポスト、プロギングの理解促進や、ゲームの要素を取り入れた教材を用いてSDG s について学ぶ体験講座など、多様なテーマにより実施。また、社会課題解決型ビジネス創生ワークショップなども開催し、市民や企業の意識向上及び市への愛着心の醸成を図った。

【普及啓発】

「野々市市 SDGs 未来都市展示ブース」をカレードのオープンギャラリーに設置し、SDGs 未来都市関連イベントの紹介に加え、CNC ルーターの紹介、「SDGs アクション」などを貼ったメッセージボードを展示するなどし、市民への普及啓発・情報発信に取り組んだ。

【物納による寄附】

○ホンダ N-VANe 評価額 2,805 千円

本車両を移動手段として運用することで、環境に配慮した持続可能なまちづくりの姿勢を市内外にアピールした。

○木造平屋家屋（分煙施設） 評価額 5,851 千円

市役所本庁舎の公共空間における受動喫煙防止と、利用者の利便性向上を図るため、分煙施設（木造平屋）を整備した。

○防災備蓄品（簡易トイレ、ポータブル電源等） 評価額 4,998 千円

災害時における避難所機能の強化および市民の安全確保を図るため、寄附受領した防災関連用品を備蓄・活用した。



プロギング



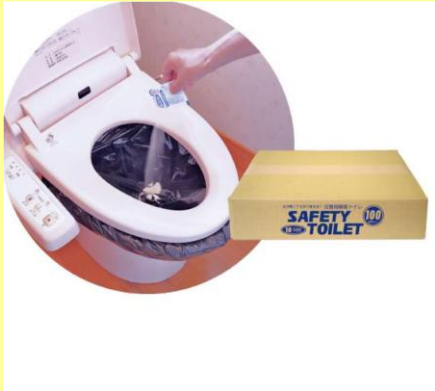
SDGs 未来都市展示ブース



電気自動車



分煙施設



災害用簡易トイレ

4) 対象事業の重要業績評価指標（K P I）と実績値
別紙資料2のK P I のとおり

事業の効果			
☐ 地方創生に非常に効果的であった	☒ 地方創生に相当程度効果があった	☐ 地方創生に効果があった	☐ 地方創生に効果がなかった

5) 実績値を踏まえた今後の方針	
☐ 追加等更に発展させる	(理 由) 「第3期ののいち創生総合戦略」に基づき、SDG s の推進を全体の基本姿勢として捉え、企業版ふるさと納税の活用を図るとともに、地域の強みを活かした産業育成や定住促進に向けた環境整備、都市の利便性の向上などの施策を推進します。 持続可能な視点を持ってこれらの取組を加速・深化させることで、「選ばれるまち・暮らし続けたいまち」の実現を目指します。
☐ 事業内容の見直し（改善）	
☒ 事業の継続	
☐ 事業の継続の中止	
☐ 予定通り事業を終了	